

令和 3 年 度

第 65 回 簿 記 検 定 試 験

3 級 商 業 簿 記

問 題 用 紙

(制限時間 1 時間30分)

(令和 3 年12月12日施行)

受験上の諸注意

- ・ 答案はすべて答案用紙に記入すること。
- ・ すべての答案用紙に受験番号を記入すること。
- ・ 赤字で記入すべきところは赤ペン、赤鉛筆を用いること。
- ・ その他答案の作成にあたっては、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	小 口 現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	売 掛 金
貸 倒 引 当 金	有 価 証 券	貸 付 金	前 払 金	仮 払 金
備 品	買 掛 金	借 入 金	仮 受 金	所 得 税 預 り 金
売 上	有価証券売却益	仕 入	発 送 費	給 料
貸 倒 損 失	旅 費	交 通 費	有価証券売却損	現 金 過 不 足

- (1) 佐賀商店から、現金 ¥300,000 を借用証書によって借り入れた。
- (2) 得意先城南商店が倒産し、前期から繰り越された同店に対する売掛金 ¥49,000 が回収不能となったため、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥80,000 ある。
- (3) 鹿島商店に商品 ¥890,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥10,000 は現金で支払った。
- (4) 従業員の出張にさいし、旅費の概算額として ¥60,000 を仮払いしていたが、本日、帰店して旅費の精算をおこない、残額 ¥9,000 を現金で受け取った。
- (5) 売買目的で保有している杵島商事株式会社の株式20株（1株の帳簿価額 ¥40,000）を1株につき ¥50,000 で売却し、代金は当座預金口座に振り込まれた。
- (6) 多久商店の会計係は定額資金前渡法により、小口現金として小切手 ¥20,000 を振り出して庶務係に渡した。
- (7) かねてより、帳簿残高を修正してその原因を調査中であった現金不足額は、交通費 ¥2,600 の記帳もれであることがわかった。
- (8) 本月分の給料 ¥490,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥39,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

2 白石商店の下記の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票に記入しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

取 引

6月16日 多久商店から商品の注文を受け、内金として現金 ¥44,000 を受け取った。

(伝票番号 No.37)

◇ 日 福富商店から商品陳列用ケース ¥250,000 を買い入れ、代金は小切手#15を振り出して支払った。

(伝票番号 No.10)

◇ 日 小城市役所から固定資産税の納税通知書を受け取り、ただちにこの税額 ¥300,000 を現金で納付した。

(伝票番号 No.15)

3 北方商店の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の買掛金勘定と仕入勘定に転記しなさい。
- (2) 買掛金元帳・商品有高帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、買掛金勘定と仕入勘定に転記するときだけ記入すればよい。

iv 商品有高帳は、B品について移動平均法によって記入すること。

取 引

1月10日 多久商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥40,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A品 400個 @ ¥600 ¥240,000

B品 200個 @ ¥420 ¥84,000

13日 多久商店から仕入れた商品の一部を返品し、代金は買掛金から差し引くことにした。

A品 10個 @ ¥600 ¥6,000

15日 佐賀商店へ次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの約束手形#3で受け取った。

A品 300個 @ ¥800 ¥240,000

B品 600個 @ ¥520 ¥312,000

23日 嬉野商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

B品 300個 @ ¥410 ¥123,000

29日 嬉野商店へ対する買掛金のうち ¥200,000 を現金で支払った。

4 川副商店（個人企業 決算年/回 12月31日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 備品勘定・消耗品費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、日付・相手科目・金額を記入すること。

決算整理事項

a. 期末商品棚卸高 ¥720,000

b. 貸 倒 見 積 高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

c. 備品減価償却高 取得原価 ¥840,000 残存価額は零(0)、耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法によって記帳する。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

d. 現金過不足勘定の ¥3,000 は雑損とする。

e. 引出金勘定の ¥41,000 は整理する。

(1)

令和〇年12月31日

令和 3 年度
第 65 回簿記検定試験
3 級 商業簿記

(制限時間 1 時間30分)

(令和3年12月12日施行)

備 品

6

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

- 4 -

1

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

受験番号	①	②	③	④	総得点

入金伝票									
令和〇年 月 日 16									
科目	入金先			様					
摘要				金額					
合 計									

<u>出 金 伝 票</u> 令和〇年 月 日 第 16 号									
科目		支払先	様						
摘要			金 額						
合 計									

振替票													
令和〇年 月 日													
勘定科目		借方					勘定科目					貸方	
合 計													
摘要													

[illegible]

- 2 -

令和○年	摘 要	仕 丁	借 方	令和○年	摘 要	仕 丁	貸 方
				1 1	前 期 繰 越	√	315,000

仕 入				25			
令和 ○年	摘 要	仕 丁	借 方	令和 ○年	摘 要	仕 丁	貸 方

1

[illegible][illegible][illegible]

受験番号	3(2)

第65回簿記検定試験

3級商業簿記

採点基準

(令和3年12月12日施行)

1

	借方	貸方
(1)	現金 300,000	借入金 300,000
(2)	貸倒引当金 49,000	売掛金 49,000
(3)	売掛金 890,000 売送金 10,000	売上金 890,000 現金 10,000
(4)	旅費 51,000 現金 9,000	仮払金 60,000
(5)	当座預金 1,000,000	有価証券 800,000 有価証券売却益 200,000
(6)	小口現金 20,000	当座預金 20,000
(7)	交通費 2,600	現金過不足 2,600
(8)	給料 490,000	所得税預り金 39,000 現金 451,000

①	②	③	④	総得点
4点×8=32点	4点×3=12点	※4点×7=28点	※4点×7=28点	100点

4 (1)

精算表

令和〇年12月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	770,000						770,000	
当座預金	1,219,000						1,219,000	
売掛金	1,300,000						1,300,000	
貸倒引当金		5,000		21,000			※	26,000
繰越商品	680,000		720,000	680,000			720,000	
備品	700,000			140,000			560,000	
支払手形		211,000						211,000
買掛金		830,000						830,000
前受金		190,000						190,000
資本金		2,900,000	41,000				※	2,859,000
引出金	41,000			41,000				
売上		9,300,000				9,300,000		
受取手数料		64,000				64,000		
仕入	6,300,000		680,000	720,000	6,260,000	※		
給料	1,650,000				1,650,000			
支払家賃	490,000				490,000			
水道光熱費	310,000				310,000			
消耗品費	37,000				37,000			
現金過不足	3,000			3,000				
	13,500,000	13,500,000						
(貸倒引当金繰入)			21,000		21,000			
(減価償却費)			140,000		140,000			
(雑損)			3,000		3,000			
当期純(利益)					453,000			453,000
			1,605,000	1,605,000	9,364,000	9,364,000	4,569,000	4,569,000

(2)

備品

6

1/1 前期繰越	700,000	12/31 減価償却費	140,000	※
		" 次期繰越	560,000	
	700,000		700,000	

消耗品費

18

37,000	12/31 損益	37,000	※
--------	----------	--------	---

(注) 締め切り線を含む

④
※4点×7=28点

2

入金伝票

令和〇年6月16日

No. 37

科目	前受金	入金先	多々商店様				
摘要			金額				
商品代金の内金受け取り				4	4	0	0
合計				4	4	0	0

出金伝票

令和〇年6月16日

No. 15

科目	租税公課 (固定資産税)	支払先	小城市役所様				
摘要			金額				
固定資産税の納付				3	0	0	0
合計				3	0	0	0

振替伝票

令和〇年6月16日

No. 10

勘定科目	借方					勘定科目	貸方				
備品		2	5	0	0	当座預金		2	5	0	0
合計		2	5	0	0	合計		2	5	0	0
摘要 福富商店 商品陳列用ケース買い入れ 小切手#15振り出し											

3

(1) 仕訳帳					1
令和○年	摘要	元丁	借方	貸方	
1 1	前期繰越高	√	3,200,000	3,200,000	
10	(仕入) 諸口	25	324,000		
	(現金)			40,000	
	(買掛金)	13		284,000	
※ 13	(買掛金)	13	6,000		
	(仕入)	25		6,000	
15	(受取手形)		552,000		
	(売上)			552,000	
※ 23	(仕入)	25	123,000		
	(買掛金)	13		123,000	
29	(買掛金)	13	200,000		
	(現金)			200,000	

②	③(1)
4点×3=12点	※4点×4=16点

総勘定元帳

買掛金

13

令和○年	摘要	仕丁	借方	令和○年	摘要	仕丁	貸方
※ 1 13	仕入	1	6,000	1 1	前期繰越	√	315,000
29	現金	1	200,000	10	仕入	1	284,000
				23	仕入	1	123,000
仕入							
令和○年	摘要	仕丁	借方	令和○年	摘要	仕丁	貸方
※ 1 10	諸口	1	324,000	1 13	買掛金	1	6,000
23	買掛金	1	123,000				

(2)

買掛金元帳

多々商店

1

令和○年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高
1 1	前月繰越		100,000	貸	100,000
10	仕入れ		284,000	〃	384,000
13	返品	6,000		〃	378,000
※ 31	次月繰越	378,000			
		384,000	384,000		

嬉野商店

2

令和○年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高
1 1	前月繰越		215,000	貸	215,000
23	仕入れ		123,000	〃	338,000
※ 29	支払い	200,000		〃	138,000
31	次月繰越	138,000			
		338,000	338,000		

商品有高帳

品名 B 品

単位：個

(移動平均法)

令和○年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
1 1	前月繰越	600	400	240,000				600	400	240,000
10	多々商店	200	420	84,000				800	405	324,000
15	佐賀商店				600	405	243,000	200	405	81,000
※ 23	嬉野商店	300	410	123,000				500	408	204,000
31	次月繰越				500	408	204,000			
		1,100		447,000	1,100		447,000			

③(2)

※4点×3=12点